

# がくどうほいく ふなばし

No.7 市連協だより

2004.5.28(金)発行

船橋市学童保育連絡協議会

(住所) 船橋市南本町31-5

(Tel/Fax) 047-433-9266

(ホームページ) [homepage2.nifty.com/fghrk/](http://homepage2.nifty.com/fghrk/)

## 2004年度 市連協定期総会に 参加しましょう

待機児童をなくすため、また保育の充実を求めたこの間の父母と父母会の運動により、船橋市の学童保育は大きく前進してきています。

市は、今年度から開設時間の延長を実施し、ルームの増設は、昨年度2ルームに続き今年度は6ルームで実現するなど、今後も計画的な増設を進める方針です。

しかし、一方では、「財政健全化」施策として保育園の民間委託化の動きもあり、子育てをめぐる新たな問題も出ています。

総会では、増設問題などで前進した1年間の活動を振り返り、来年度の活動方針を話し合うほか、キャンプなどの行事やお弁当の取り組みなど、各ルームの父母会活動も交流します。

皆さん、ぜひご参加ください。

### ・とき

6月20日(日)

12:30 ~ 16:00

### ・ばしょ

宮本公民館

( 424-9840)

「ふなばし自然体験活動指導者ネットワーク主催 市連協協力」

# 2泊3日で1万円 サマーキャンプのご案内

この夏、子ども達と自然観察やナイトハイク、星空教室などで自然とふれあう機会をもってみませんか？もちろん、夜の父母同士の交流もしましょう。

ふなばし自然体験活動指導者ネットワークが主催するサマーキャンプは、テントの設営や野外炊事などは指導者がサポートし、希望者へは野外ゲームや工作、自然観察などキャンプ場や県民の森をフィールドとして自然と触れ合うプログラムも行ってくれます(教材費は別途負担)

また、参加料金に食材費も含まれ、事前に準備する必要がなく、非常に手軽なキャンプができます。

## 「日程」

8月6日(金)～8日(日) 2泊3日

## 「場所」

大神保青少年キャンプ場(現地集合・解散、船橋県民の森に隣接)

「定員」 250名

## 「参加費」

1万円/人(大人、子ども同額)

- ・父母会や数家族を単位として、10名以上を1つのグループとして申し込んでください。
- ・食材、機材は基本的に必要なものは準備されています。
- ・宿泊はテント泊で、寝袋は各自持参してください。
- ・7月上旬に事前説明会があります。

詳細及び申込方法等は、市連協ホームページをごらん下さい。

**申込締切は6月30日(水)です。**

4月度定例会での交流から

# 父母会の動き

法典ルーム父母会が

## 増設にあたっての要望書を提出

増設されることになったものの、図書室との共用という船橋市でも初めての施設となる法典ルームでは、期待の半面、運営など父母に不安や疑問が出ています。

父母会では、4月中に保護者説明会を開催すること、現場の指導員や学校と運営方法について充

分協議すること、国の補助金ではなく、市の予算による工事であるため早期に増設できること、暫定施設でなく独立したルームを早く実現させることなどの要望書を提出しました。

### 海神父母会から

4/18に父母会総会と兼ねて「歓迎会」を実施。新1年生27人のうち17人と昨年に比べ多くの参加者があり、活気があふれました。

### 西海神父母会から

この4月、多くのルームで待機児童が出てしまったが、うちにも近隣ルームから児童が通ってきている。中には姉妹でバラバラになってしまった児童もいる。  
連休明けに父母会の総会を予定している。

### 宮本父母会から

CAP 講習会(子どもへの暴力防止プログラム)を実施した。  
5/16には父母会総会と兼ねて「歓迎会」を予定している。

### 葛飾父母会から

ルーム主催の「お別れ会」が85%もの参加率で盛り上がった。  
先日、父母会総会も開催した。

## ほのぼの保育報告

4月にたくさんの一年生たちが入所してきました。緊張しながらも、新しい生活に興味津々(きょうみしんしん)という様子があふれています。

つついロッカーの上に乗っている上級生を見て、「先生、お兄さんがいけないことをしています」と報告に来る1年生がいました。「一年生に注意されたんじゃないねえ...」と声をかけると、苦笑いしながら降りる二年生。一年生の中に保育園時代の「年長さん」という自覚が育っていたのですね。

4月誕生会での「出し物」には、なんと二人の一年生が立候補しました。みんなの前で何かを演じるというのは、大人が考える以上に「勇気」のいることです。

指導員が声をかけてやることになった女の子はトランプの手品。でも、とてもぎこちなくて見ている方は何をやっているのか???。もう一人の男の子は、松ぼっくりを使ったマジック。「この松ぼっくりを水につけると30分後に開いてきます」(本当は湿って傘が閉じるのですけど...)と得意げに言っています。すぐに答えが出ない手品??

そんな幼い出し物に対し誰もチャチを入れず聞いていて優しいのです。「まだ小さいものね」という思いがあるからでしょう。

こうして新しいみんなのかかわりがスタートしました。これから一年間でどのように広がっていくのか本当に楽しみです。